

会 議 要 旨

会議の名称	川越市立川越高等学校教育審議会 令和6年度第1回審議会
開催日時	令和6年7月10日（水） 午後3時00分 開会 ・ 午後4時30分 閉会
開催場所	川越市立川越高等学校大会議室
会長（委員長・会長）氏名	青木 勇藤
出席者（委員）氏名 （人数）	蘆田 章吾、大野 好司、小高 竜太郎、木村 昌幸、高原 央明、 長井 正邦、中村 美穂、長谷部 辰夫、原田 正則、三原 孝志、 山本 翔吾 （11人）
欠席者（委員）氏名 （人数）	小川 修一郎 （1人）
関係者 職氏名	市立川越高等学校 校長 飯田 敦 事務長 松本 秀規
事務局 職氏名	学校教育部 副部長兼学校管理課長 西貝俊哉 副参事 川鍋 寛 副主幹 山中 充 指導主事 後藤 敦 指導主事 宮本 幸二郎
会議次第	1 開会のことば (1) 教育長挨拶 (2) 委員紹介 (3) 事務局職員等紹介 2 議事 (1) 第3回 審議会（令和5年度第2回 会議）会議要旨の報告 (2) 先進校視察の報告 (3) 協議事項 特色ある普通科の教育と商業を重視した実学教育の充実について ・ 普通科、商業科（情報処理科、国際経済科）の今後について (4) 今後の教育審議会で取り上げたい議題 ・ 市内企業、大学等と連携した取組について

	3 諸連絡
	4 閉式のことば
配 布 資 料	川越市立川越高等学校教育審議会 次第 資料 1 川越市立川越高等学校教育審議会委員名簿 資料 2 川越市立川越高等学校教育審議会条例 資料 3 川越市附属機関等の会議の公開に関する実施基準 資料 4 第3回 審議会会議要旨(令和5年度第2回会議) 資料 5 先進校視察について 資料 6 特色ある普通科の教育と商業を重視した実学教育の充実について

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
司会	1 (1) 新保教育長より挨拶
教育長	教育長あいさつ
司会	(2) 委員紹介 (3) 事務局職員等紹介
司会	2 資料2「川越市立川越高等学校教育審議会条例」第4条第2項の規定に基づき、青木会長が議長となる。
会長	会議の公開について (傍聴者なし)
会長	資料2「川越市立川越高等学校教育審議会条例」第5条第4項の規定に基づき、市立川越高等学校管理職出席について、諮る。
委員	「異議なし」
会長	議事(1) 第3回審議会(令和5年度第2回会議)の会議要旨の報告について、事務局から報告。
事務局	資料4「第3回審議会 会議要旨」について(説明)
会長	意見や質問等はあるか。 この内容で承認することでよいか。承認されると、この内容で市のホームページで公開される。
委員	(意見等なし)
会長	異議がないようなので、報告のとおり、会議要旨とする。 議事(2) 先進校視察の報告について、事務局から報告を願う。
事務局	「資料5 先進校視察について」 1 視察の目的等について

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	(1) 目的 市立川越高等学校における学校運営方針に必要な調査研究を行うことを目的としている。特に単位制に係る調査、及び商業系学科再編に係る調査を行ってきた。 (2) 日時、場所、視察者 日時は令和6年5月28日(火) 10:30～14:30。場所は山形市立商業高等学校である。視察者は、学校管理課副参事と市立川越高等学校長の二人である。 2 学校の概要について (1) 教育目標 スクール・ミッションとして、「“日本一の商業高校”をめざす！」ことを目標に掲げ、山形の発展のために、将来の山形を担う“人財”を育成する学校を目指している。 (2) 学科紹介 学科について、総合ビジネス科(4クラス160名)は、多様な進路希望に対応した学科である。情報科(1クラス40名)は、令和4年度から新設。情報分野に特化した学習ができる学科である。経済科(2クラス80名)は、大学受験に対応するための学科である。 (3) 教育課程 教育課程について、月～金曜日まで6時間授業である。単位制としての選択科目は少ない印象をもった。 (4) 施設 施設について、敷地内に105億円をかけて、新校舎を建設した。特徴的な施設は、アクティブラーニング室で、プロジェクターの投影用の白い壁がある。体育館には、エアコンが完備されており、床がゴム製であった。食堂はラーニングコモンズとして図書館と併設され、食堂の壁に多数の本を配備されており、どの施設も最新のもので、とてもきれいであった。 (5) その他(質疑応答) ○単位制について 単位制を目指そうとしたきっかけは、前校長の強いリーダーシップのもと、市教委主導で進めたことである。良かった点は、選択科目の設置に伴い教員定数を増加できたことである。苦労した点は、内規の整備と少人数指導で教室の確保が難しいことである。単位制では、生徒一人一人が多くの選択科目の中から時間割を作成するイメージであるが、実際

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	は学科や学年ごとに時間割が決まっており、一部選択教科があるような形であった。 ○学科再編について 学科再編を検討した経緯については、倍率を維持することが厳しい状況となっていたからである。新設した情報科については、令和6年度入試の倍率が0.85倍であり、厳しい状況である。生徒のニーズに合った学科の再編が必要であると感じた。
会長	先進校視察について、御意見等はあるか。
大野委員	課題研究について、他の学校と違いは、あるのか。
事務局	課題研究は総合的な探究の時間として、生徒の興味・関心を大切にしてい探究活動を行うものである。生徒は各自作成した資料を発表する際、プロジェクターを使用してプレゼンを行っていた。
大野委員	単位制について、学年制の高等学校と、ほとんど変わらないように感じる。
校長	視察では山形市教委、山形市立高等学校の教頭と教務主任が対応した。単位制にすることでのメリットのひとつは、教員の定数が増えることである。それによって、きめ細かい指導を行っているという説明を受けた。
会長	続いて、議事(3)特色ある普通科の教育と商業を重視した実学教育の充実について、前々回の会議で学校運営の方針についての課題の整理を行い議論すべき課題となっていた。今回は学科の再編をテーマに、話合っていきたい。 議事(3) 協議事項「普通科、商業科の今後について」事務局から説明願う。
事務局	「資料6 特色ある普通科の教育と商業を重視した実学教育の充実について」 1 新しい普通科について (1) 普通教育を主とする学科 普通教育を主とする学科について『令和の日本型学校教育』の構築を

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	目指して」より、令和4年度から普通教育を主とする学科の設置が可能となった。 これまでは「普通教育を主とする学科」は普通科のみとされていたが、学際的な学び、地域社会に関する学び、その他特色・魅力ある学びの3種類の学科等設置することができる。 (2) 新学科を設置した高校 新学科を設置した高校については、令和6年度までに全国で約20校ある。 2 様々な普通科の形について (1) 普通科コース制 コース制では「学科」は学習内容による分類であるのに対して、「コース」は学科の中でさらに細かく分けた学習内容や、将来の進路目標などを表す。より専門的なことが学べるメリットはあるが、コース制では募集定員が少なく生徒募集が難しい。 (2) 普通科総合選択制 総合選択制では、基礎学力を重視しながら、生徒の興味関心や進路に応じて、幾つか設定された「学系」から1つを選んで学習する。生徒は学系ごとに指定された学系指定科目を履修する。学系指定科目と必修科目を除く科目は自由選択科目と呼ばれ、生徒が自由に選択して履修できる。総合選択制では、生徒一人一人の時間割を作成するのに、膨大な時間がかかる。 (3) 普通科単位制 単位制では、必修科目以外、全て選択科目となっている。授業は、ほとんどがクラス単位ではなく、選択した科目ごとに生徒が教室を移動して授業を受ける。学年の概念がなく、ときには2年生と3年生が同じ教室で授業を受けることがある。クラス単位の活動は、ホームルームや行事、必修科目の授業などで行われる。生徒の興味・関心・進路希望にきめ細かく対応できる。単位制は、選択科目が多く、教諭の確保が難しいなどがデメリットである。 3 情報処理科、国際経済科の今後について (1) 専門学科としての商業科 高等学校学習指導要領には、専門学科においては、履修させる単位数は、25単位を下らないこととある。市立川越高等学校の商業科は、情報処理科、国際経済科、ともに商業に関する科目は9科目29単位と選択科

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	目 2 単位の合計 31 単位履修・修得している。 (2) 全商検定 1 級取得者 令和 5 年度全商検定 8 種目の中で全商検定 1 級取得者は情報処理科 60 名、国際経済科 44 名、計 104 名であった。情報処理科の生徒は、資格取得に対する意識が高い結果となっている。 (3) 主要な運動部の部活動 主要な運動部の部活動では、国際経済科は普通科の生徒数の約半数であるのに対して、部活動の活動状況が際立っている。国際経済科の生徒のニーズとして、商業科目を学び、資格取得を目指す一方、スポーツに力を入れたいという実態がある。 (4) 県内の体育科 県内の体育科では、スポーツへの興味・関心の高い生徒のために、体育科等を設置している高校がある。専門学科としての体育科は、生徒募集において厳しい状況である。 (5) 全国の特色ある商業系スポーツ科 全国の特色ある商業系スポーツ科について、全国には、商業科と体育科の授業の両方を学べる学科を設置している高校がある。 高知市立高知商業高等学校スポーツマネジメント科では、商業がメインで体育に関する科目が少なめの印象である。 明石市立明石商業高等学校商業科スポーツ科学コースでは商業がメインであるが、高知商業よりも体育に関する科目が多い。 説明は以上である。学科再編について、あらゆる角度から忌憚のない意見を願う。
会長	ただ今の説明について、まずは普通科の今後について、ご意見やご質問等はあるか。
蘆田委員	弊社の調査の中では、一般入試をチャレンジさせたい保護者は、一定数いる。また、人気がある大学は、一般入試と推薦入試の両輪で生徒募集を行っている。 学科の名称について、人口が 100 万人以上いる都市では先進的な名称になっても生徒は集まるが、100 万人を割るような都市では、時代を先取りしすぎる学科の名称は、生徒募集に厳しい状況がある。聞きなれた名称にしたほうが、リスクが少ないと考える。
小高委員	大学の一般入試、または資格取得のために、学校として何か取り組み

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	を行っているのか。 商業科をセールスポイントしてもよいのではないか。
長谷部委員	普通科から大学進学は、どのくらい実績があるのか。指定校推薦の枠は、どのくらいあるのか。
校長	本校は、様々な指定校推薦の枠を持っている。普通科の生徒も商業科の授業を受けることができるようにできないかと考えている。そのことが、学校のひとつの特色になっていく可能性もあると考えている。
大野委員	高校卒業後の進路選択は、どのようになっているのか。また、進路指導をどのように進めているのか。
校長	進路の実績は、学校案内のとおりである。大学進学ができないから、就職をしているわけではない。総合型選抜では、結果も出している。
小高委員	運動部でありながら、商業科で学び、資格取得もできることは、進路選択を行っていくうえで、とても有利にはたらくと感じる。
三原委員	卒業生が、社会人になったときに何ができるのかが大切である。私立や公立において、社会人になったときに役に立つ実学教育、つまり社会にでたときに即戦力になる生徒の育成が求められている。普通科でありながら、商業の科目を学べることで、高校生でも幅広い知識を付けていくことも可能であると考える。
大野委員	京都市立開建高等学校での「探究の時間」の取り組みを参考に、川越をフィールドにした探究活動もできるのではないか。
会長	多岐にわたる意見に感謝する。次に、商業科の今後について、スポーツに関連した学科の編成について、意見等はあるか。
小高委員	部活動に焦点をあてた学科の再編は、考えているのか。
校長	学科の再編も含め、様々な検討をしている。
小高委員	学科の再編については、学力などのバランスを含めて考えないといけ

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	ない。さらに、再編をする場合には、その目的を明確にする必要がある。
大野委員	日本体育大学、法政大学、順天堂大学、東海大学、帝京大学では、スポーツに関わる学科を新設し、既存の学科の定員を増やしている。定員を増やすということは、ニーズがあるということである。高校の学科再編においても共有できる部分があるのではないか。学力に関しては、入試の工夫で対応できるのではないか。
副会長	学科を新設したことにより、廃止した学科もあるのか。
大野委員	そのような大学もある。
蘆田委員	スポーツを頑張りたい生徒が多いことについてわかりやすい説明であった。大切なことは、部活動を頑張った生徒の進路指導である。強い部活動にするためには、生徒の進路まで考える必要がある。そして、部活動の活動時間をしっかり確保することも大切である。
小高委員	特待生のような制度があってよいのではないか。
会長	様々な角度から忌憚のない意見に感謝する。続いて、議事(4)今後の教育審議会で取り上げたい議題について、事務局から説明を願う。
事務局	今後の教育審議会で取り上げたい議題について、説明する。今回の会議で議論したことを踏まえ、「特色ある普通科の教育と商業を重視した実学教育の充実について」の2回目の議論と、前回の会議で提示したとおり「市内企業、大学等と連携した取組について」協議できればと考えている。
会長	今後の議題について、事務局から議題の提案があった。意見や感想などはあるか。
長谷部委員	市内の企業で法人会に参加している企業は、約5,400社ある。窓口の一つとして活用してほしい。
校長	本校の書道部の書道パフォーマンスをうまく活用できるのではないか。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
長谷部委員	川越の観光の発展のために、高校生ならではの斬新なアイデアを考えてほしい。
会長	様々な角度から、多彩で示唆に富む発言に感謝する。予定の時刻になったので、本日の審議を終了とする。進行を司会に返す。
司会	委員には、審議への協力に感謝する。 次回の会議は、令和6年10月15日（火）15時から市立川越高等学校での開催を予定している。 以上をもって、川越市立川越高等学校教育審議会令和6年度第1回会議を閉会とする。